

平成28年2月14日(日)
第19回石西礁湖自然再生協議会

石西礁湖の現状について

環境省 石西礁湖サンゴ群集モニタリング調査

那覇自然環境事務所 石垣自然保護官事務所

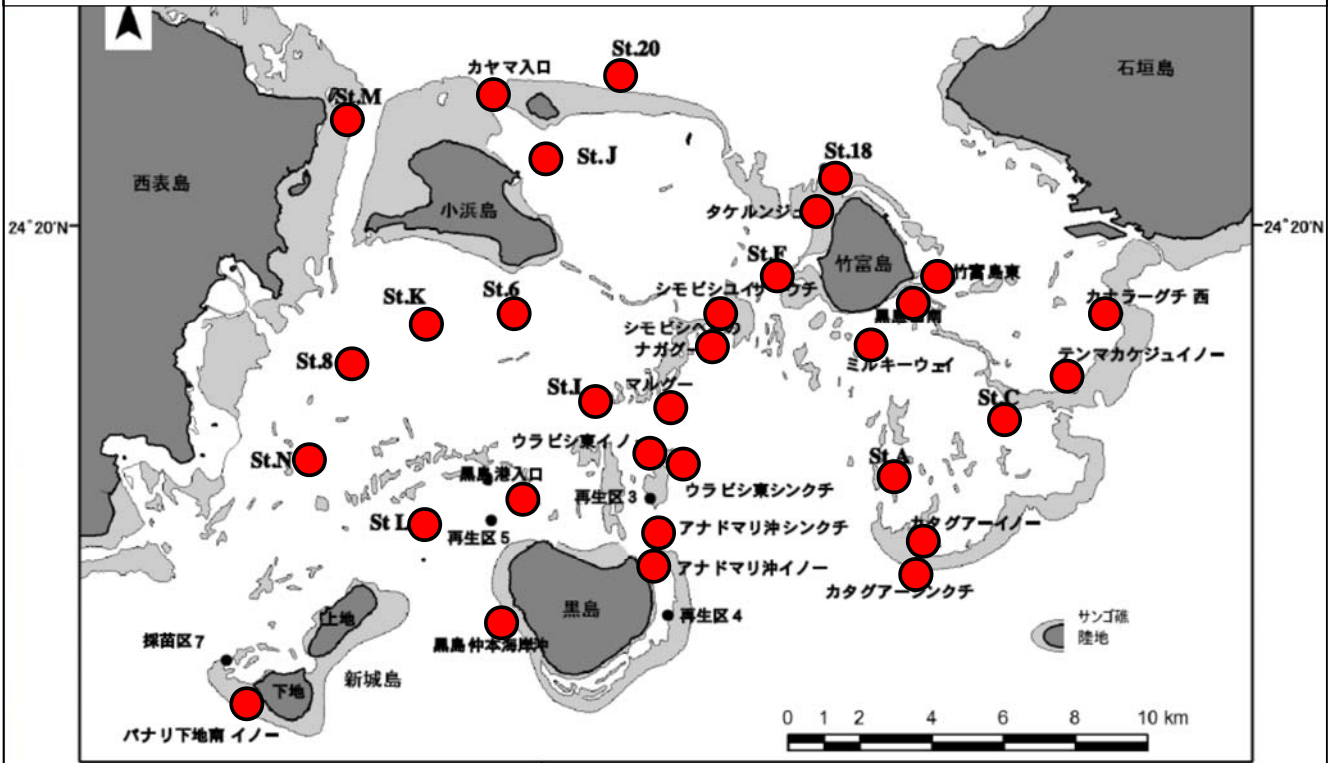
調査の目的

目的： 造礁サンゴ類の分布状況等を継続調査



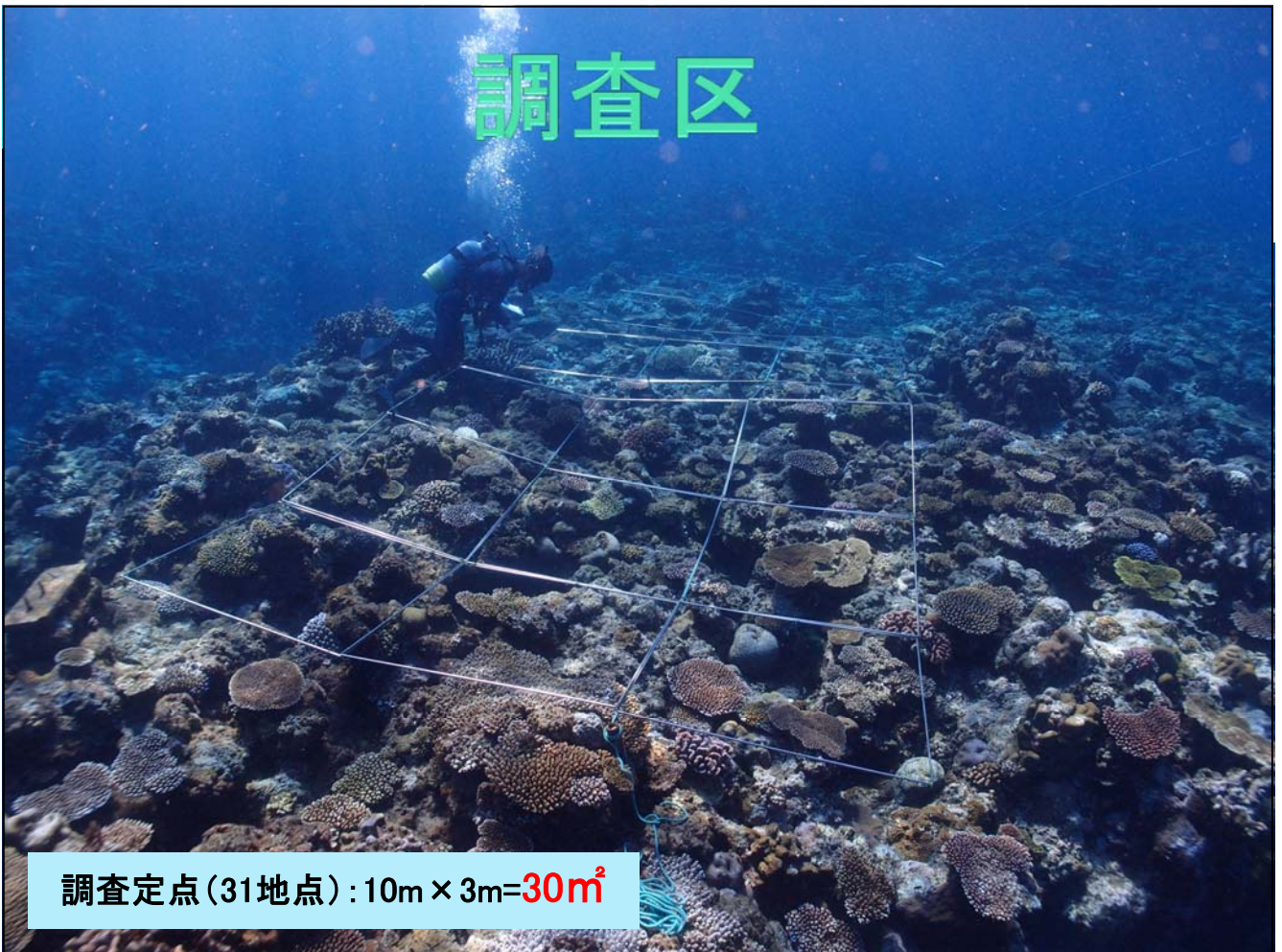
- サンゴ群集の状態の経年変化を把握
- 生育環境(水質や赤土等の堆積物)の変化とサンゴへの影響評価
- サンゴ群集の変動を予測

調査地点



石西礁湖内調査定点31地点 ●

調査区



調査定点(31地点) : 10m × 3m = **30m²**

調査項目

サンゴ群集の構造

- ・サンゴ種別被度
- ・サンゴ種別群体数

サンゴ群集の変化

- 稚サンゴ(長径5cm未満)の属別出現数(4~5年以内の新規加入)

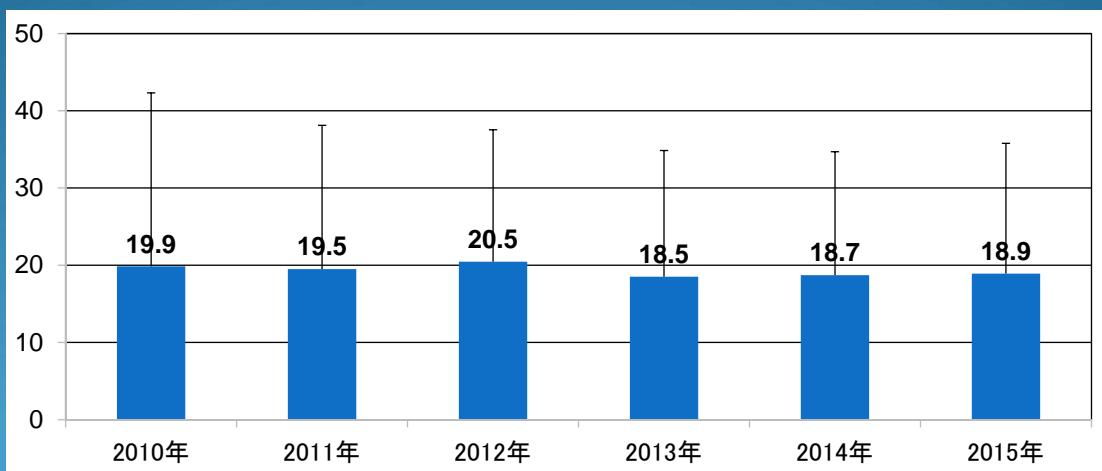
かく乱の把握

- ・白化現象
- ・病気
- ・サンゴ捕食者
- ・水平透視度(懸濁物)

調査定点(31地点): 10m × 3m = **30m²**

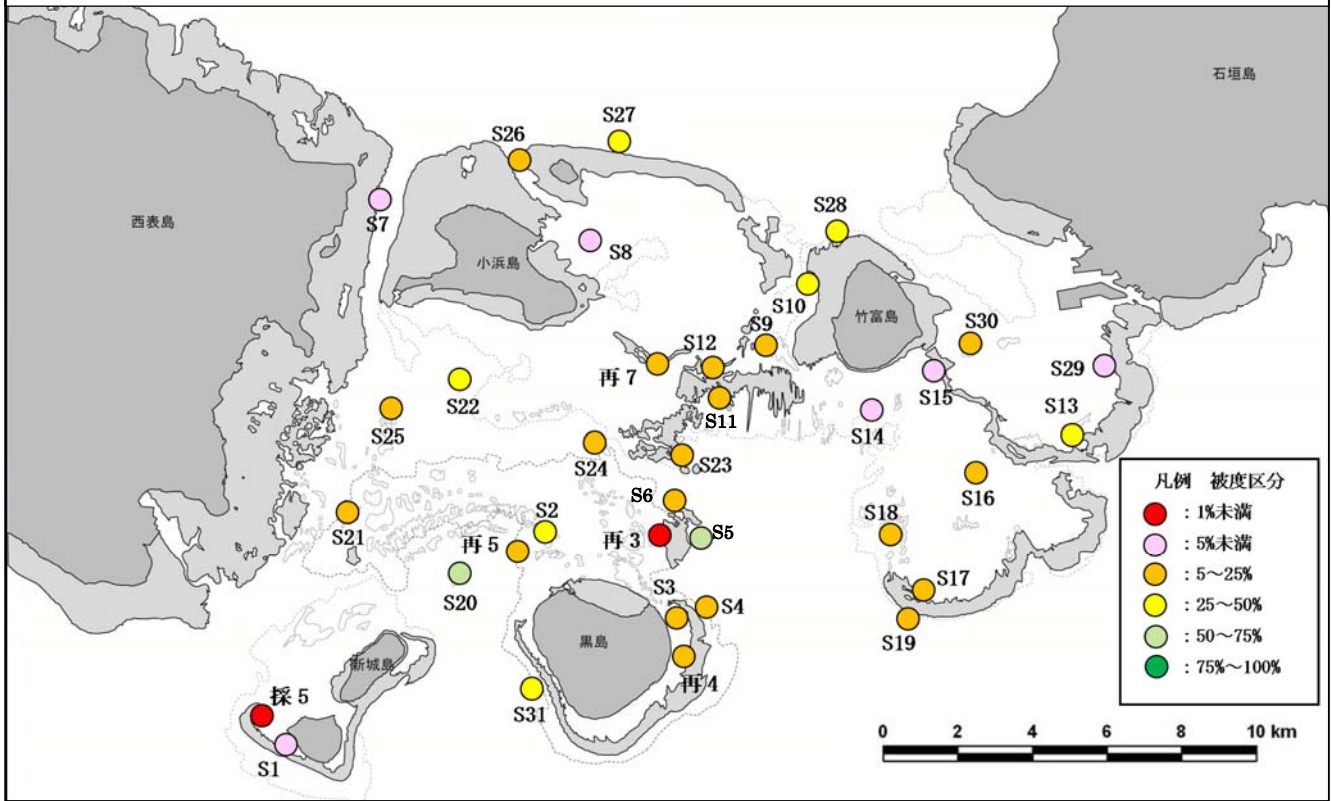
調査結果: 全31調査地点の概況

- 平均被度: 昨年から僅かに増加 (2014: 18.7% → 2015: 18.9%)
- 全体的にやや回復傾向 (被度低下: 14地点、被度増加: 17地点)



2010年から2015年までの全31地点におけるサンゴ被度(平均)の変化
(棒グラフの上のバーは標準偏差を表す)

調査結果:サンゴ被度(2015年)



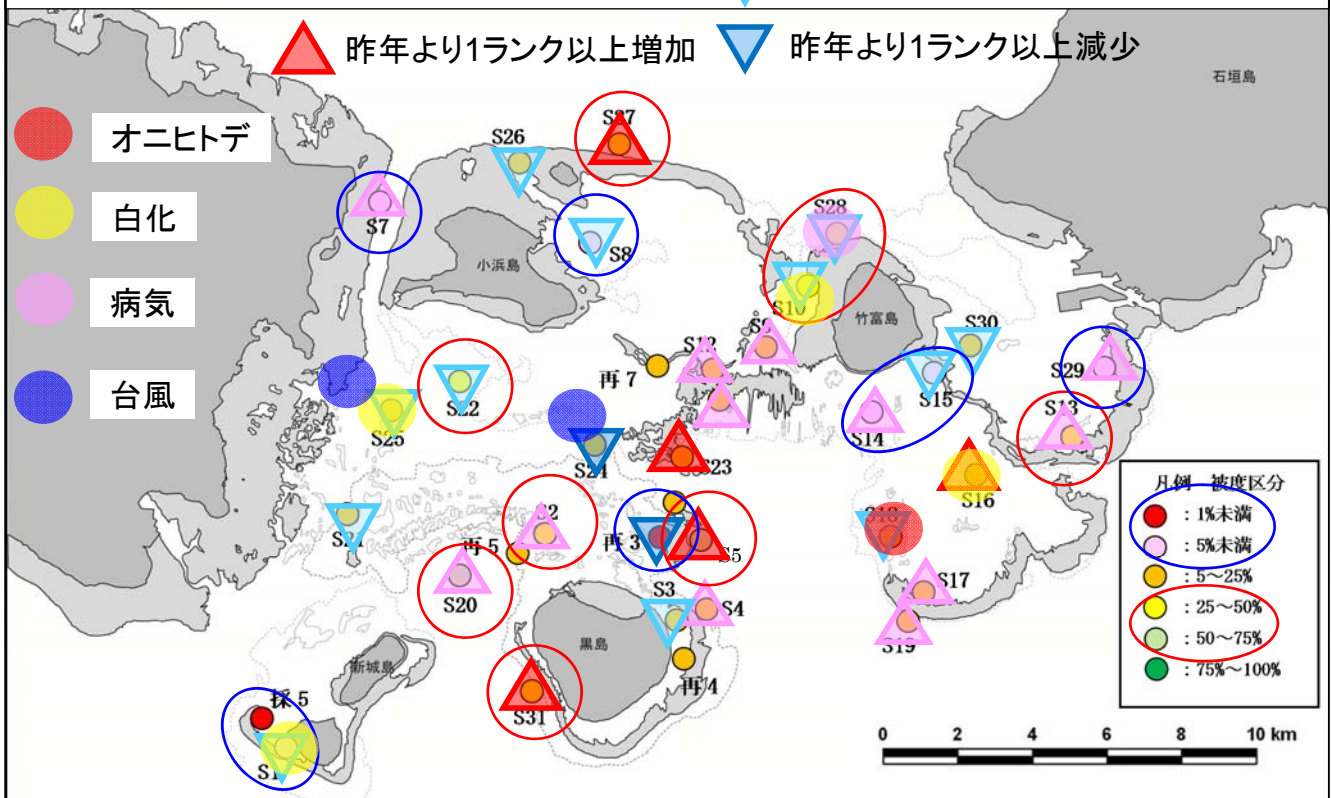
調査結果:サンゴ被度(2015年)

▲ 昨年より増加

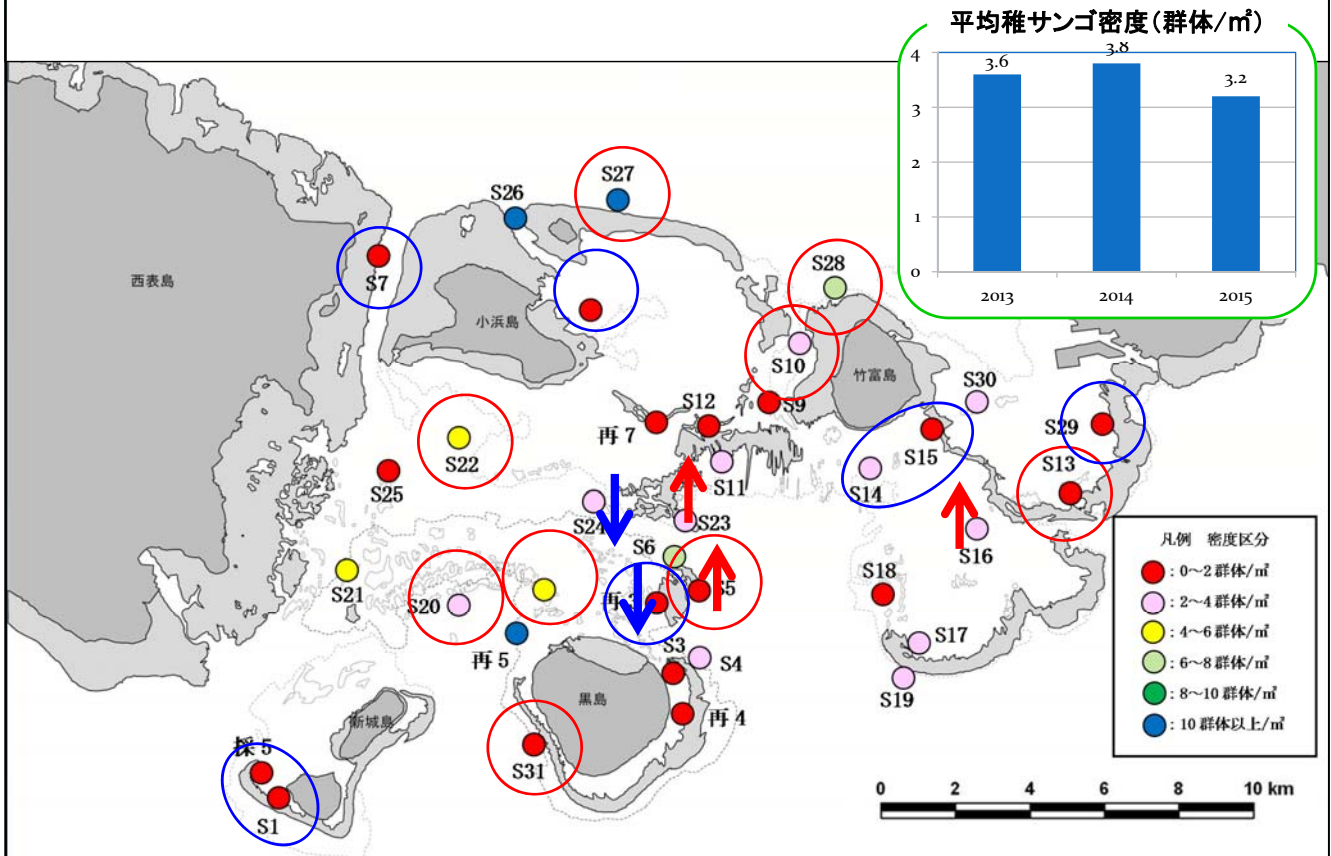
▼ 昨年より減少

▲ 昨年より1ランク以上増加

▼ 昨年より1ランク以上減少



調査結果：稚サンゴ（2015年）



まとめ：石西礁湖の現状

●石西礁湖の現状

近年の攪乱により、1970年代に比べ衰退した状態
 （1998年の白化、2006年の台風、2007年の白化、2008年頃からのオニヒトデ大発生などの影響）

●ここ数年の状況

—若干ながら、回復の兆候がみられる。

（被度や稚サンゴ密度等の増加）

—依然として回復が進まない場所もみられる。